

Project

活動報告(2017.5-2019.3)

2017年5月19日、東京都千代田区の都市センターホテルで、設立時社員総会が開催されて以降、2019年3月末までの活動の概要を紹介する。

1. 講演会の開催

JAAMの活動をより広く知ってもらうことを目的として、2017年9月21日、東京都港区の日本消防会館においてJAAM設立記念講演会が開催された。600名近い聴衆が集まるなか、石井啓一国土交通大臣もご出席になり、JAAMへの期待と励ましの御挨拶をいただいた(写真参照)。続いて、小林潔司JAAM会長による基調講演、及びWoodhouse Partnership Ltd.の主幹コンサルタントAlan Laird氏による特別講演が行われた。

2018年9月20日には、ホテルエルセラーン大阪において「JAAM アセットマネジメント講演会in大阪」が開催された。約400名の聴衆のもと、JAAMの活動報告のほかアセットマネジメントの実装の必要性や方法論等について最新の動向が紹介された。続いて、2019年2月8日には、富山市が主催しJAAMが共催して、ファーストバンク・キラリホールにて、富山市官民連携推進シンポジウム「価値を生み出すアセットマネジメント」が開催された。地

元産業界を中心に約200名の参加があり、熱心な討論が行われた。

2. 国際貢献

JAAMは、ISO/TC251(国際標準化機構ISOのなかでアセットマネジメントの国際規格開発を担う専門委員会)に関する国内審議団体(国際規格案等の審議引受け国内組織)となり、日本を代表して国際会議に参加するなど国際規格開発等に貢献している。ほかに、JAAMはアセットマネジメントの分野で日本を代表する組織として、諸外国の組織や来訪者への対応等を行っている。

3. アセットマネジメントの普及啓発

JAAMの設立と同時にインターネット上でJAAMのホームページが立ち上げられ、2017年7月にはメールマガジンの第1号が発行された。メールマガジンは、それから毎月1回継続して発行されている。

JAAMでは数か月ごとに、夕方6時頃からスタートするイブニングセミナーが開催されており、2019年3月までの間に7回行われた。さらに、2017年12月と2018年11月、東京で研究発表会が開催され、それぞれ21編、28編の発表が行われた。うち2017年は3名、2018年は

4名に、優秀な発表であるとしてJAAM賞が授与された。

4. アセットマネジメントの能力開発

JAAMは、アセットマネジメントに関する個人の能力を認定するため「認定アセットマネージャー国際資格検定試験(CAMA試験)」を実施している。2019年3月までに3回の試験を実施し、計151名の認定アセットマネージャーが誕生した。2018年10月には、これら有資格者の活躍の場を広げるための交流会も行われた。

5. アセットマネジメントの高度化

JAAMでは、大学等で開発・改良されたアセットマネジメントの最先端の実用的なアプリケーション・ソフト(商標:アセットメトリクス(Asset-Metrics))を対象に、様々な現場での実装を促進する活動を行ってきた。今年は民間企業等へのライセンス供与を開始する計画で、そのための準備作業が進められてきた。あわせて、組織がアセットマネジメントの高度化を図る過程で、どの程度まで熟達したレベルにあるかを測定するためのツールの開発も進められており、その成果は間もなく発行される予定である。

6. インフラファイナンス

多様なインフラを支える資源として、民間の資金やノウハウの活用が期待されている。インフラの評価方法を確立することで、投資判断の負荷を軽減し効率的な投資環境を実現するため、テクニカル・デューデリジェンス等の枠組みについて検討が進められている。当面は、太陽光発電所のアセットマネジメントに関するガイドラインの策定が急務となっている。

また、行政その他の重要な関係機関等とコミュニケーションを図りつつ、インフラファイナンスに関わる業界の意向を、社会に広く発信、反映させる活動も行われている。



JAAM設立記念講演会(2017年9月21日)
中央の石井啓一国土交通大臣を囲んで、向かって左側が小林潔司会長、右側がAlan Laird氏、その他は来賓の方々